



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 西芝電機株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6591 URL <http://www.nishishiba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 紀一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 太田 傑 TEL 079-271-2372
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,583	△26.8	△74	—	△23	—	△64	—
22年3月期第1四半期	4,897	△13.8	65	△74.7	50	△81.3	4	△96.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△1 64	—
22年3月期第1四半期	0 13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	27,734	10,577	38.1	270 88
22年3月期	28,891	10,775	37.3	275 95

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 10,577百万円 22年3月期 10,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	3 00	3 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0 00	—	3 00	3 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	△8.9	130	△49.5	60	△70.5	30	△57.8	0 77
通期	20,200	△3.1	730	△17.0	660	△15.8	380	△12.5	9 73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社（—）、除外 一社（—）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	39,095,000株	22年3月期	39,095,000株
23年3月期1Q	46,466株	22年3月期	46,276株
23年3月期1Q	39,048,626株	22年3月期1Q	39,050,893株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年4月28日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成23年3月期の個別業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,200	△12.2	80	△65.1	120	△59.6	80	△55.5	2	05
通期	18,200	△4.3	530	△19.0	570	△17.3	330	△22.4	8	45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国を中心とする好調なアジア経済に支えられ輸出および生産は持ち直してはいるものの、依然として雇用・設備に対する過剰感、公共事業関係費の大幅削減、デフレからの脱却の遅れなどが影響し、景気回復のペースは鈍化傾向にある状況となりました。

このような環境のもとで、当第1四半期連結業績は、新造船の需要停滞および公共投資・民間設備投資の落ち込みによる受注の減少や客先からの納期繰延要求が影響し、売上高は3,583百万円(前年同四半期比26.8%減)となりました。

損益につきましては売上高が減少する厳しい状況の中、全社一丸となって原価低減活動や稼働率向上策、経費削減策に取り組みましたが、売上高が大幅に減少したことが影響し、営業損失は74百万円(前年同四半期は営業利益65百万円)、経常損失は23百万円(前年同四半期は経常利益50百万円)となり、四半期純損失は64百万円(前年同四半期は四半期純利益4百万円)となりました。

船舶用電機システムにつきましては、電気推進等のシステム製品は堅調に推移しておりますものの、船価の下落、客先からの納期繰延要求などが影響し、売上高は2,311百万円(前年同四半期比16.3%減)となりました。

発電・産業システムにつきましては、民間設備投資の緩やかな持ち直しによりコンプレッサ市場は回復しつつありますが、常用発電システム市場は依然として低迷しており、公共投資の減少も継続しておりますことから、売上高は1,272百万円(同40.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、3,904百万円となりました。

当期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

営業活動の結果獲得した資金は336百万円(前年同四半期比38.1%増)となりました。

主な増加要因は売上債権の減少額1,225百万円、減価償却費144百万円等であります。一方、減少要因は仕入債務の減少額745百万円、たな卸資産の増加額261百万円等によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は21百万円(同86.6%減)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出76百万円、有形固定資産の売却による収入39百万円等を反映したものであります。

財務活動の結果使用した資金は199百万円(前年同四半期は377百万円の獲得)となりました。

これは主に短期借入金の純減額66百万円、長期借入金の返済による支出41百万円、配当金の支払額91百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高については、新造船の需要停滞および公共投資・民間設備投資の落ち込みによる受注の減少や客先からの納期繰延要求が影響し、前回公表値を下回る見込です。

一方、損益におきましては、更なる原価低減活動や稼働率向上策、経費削減策に取り組むことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回公表値と同額を予想しております。

なお、連結業績予想の修正に伴い、個別業績予想も修正しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業損失及び経常損失は0百万円、税金等調整前四半期純損失は17百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は16百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,154,614	991,141
グループ預け金	2,750,000	2,799,000
受取手形及び売掛金	7,959,897	9,185,732
商品及び製品	1,385,593	1,133,250
仕掛品	1,253,676	1,230,925
原材料及び貯蔵品	201,974	216,550
その他	702,972	655,516
貸倒引当金	△21,042	△41,097
流動資産合計	15,387,686	16,171,020
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,435,466	8,452,182
その他(純額)	2,215,578	2,350,611
有形固定資産合計	10,651,044	10,802,793
無形固定資産		
投資その他の資産	74,130	84,162
投資その他の資産	1,623,681	1,835,807
貸倒引当金	△1,942	△1,942
投資その他の資産合計	1,621,738	1,833,865
固定資産合計	12,346,913	12,720,820
資産合計	27,734,600	28,891,841
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,895,381	4,641,158
短期借入金	3,416,664	3,482,664
未払法人税等	343	85,309
引当金	26,241	41,934
その他	1,814,865	1,566,376
流動負債合計	9,153,494	9,817,442
固定負債		
長期借入金	1,283,340	1,325,006
退職給付引当金	3,387,103	3,594,610
その他の引当金	53,862	112,070
再評価に係る繰延税金負債	3,262,828	3,267,101
その他	16,459	—
固定負債合計	8,003,593	8,298,788
負債合計	17,157,088	18,116,231

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,232,562	2,232,562
資本剰余金	500,062	500,062
利益剰余金	3,109,094	3,284,072
自己株式	△8,416	△8,388
株主資本合計	5,833,302	6,008,309
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,092	46,284
土地再評価差額金	4,735,784	4,742,035
為替換算調整勘定	△22,667	△21,019
評価・換算差額等合計	4,744,209	4,767,300
純資産合計	10,577,511	10,775,609
負債純資産合計	27,734,600	28,891,841

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,897,049	3,583,884
売上原価	3,996,478	2,859,461
売上総利益	900,571	724,423
販売費及び一般管理費	834,977	799,187
営業利益又は営業損失(△)	65,593	△74,763
営業外収益		
受取利息	2,233	4,164
受取配当金	2,293	17,420
不動産賃貸料	10,930	10,930
貸倒引当金戻入額	10,418	20,054
その他	3,484	21,195
営業外収益合計	29,359	73,766
営業外費用		
支払利息	11,018	12,338
受注契約解約損	14,607	—
その他	19,017	10,392
営業外費用合計	44,643	22,730
経常利益又は経常損失(△)	50,308	△23,728
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,288
特別損失合計	—	17,288
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	50,308	△41,016
法人税、住民税及び事業税	15,407	19,339
法人税等調整額	29,445	3,726
法人税等合計	44,852	23,066
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△64,083
少数株主利益	481	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,974	△64,083

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	50,308	△41,016
減価償却費	173,906	144,894
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,418	△20,054
退職給付引当金の増減額(△は減少)	31,476	△207,493
その他の引当金の増減額(△は減少)	△22,306	△73,901
受取利息及び受取配当金	△4,526	△21,585
支払利息	11,018	12,338
有形固定資産売却損益(△は益)	1,400	△80
有形固定資産除却損	2,911	601
無形固定資産売却損益(△は益)	—	△3,750
売上債権の増減額(△は増加)	1,381,480	1,225,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	354,470	△261,083
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△28,905	△17,912
その他の固定資産の増減額(△は増加)	33,758	146,268
仕入債務の増減額(△は減少)	△881,083	△745,015
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△571,084	268,214
その他	4,536	5,489
小計	526,942	411,734
利息及び配当金の受取額	4,526	21,585
利息の支払額	△6,458	△6,741
法人税等の支払額	△281,083	△89,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,927	336,981
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△159,917	△76,698
有形固定資産の売却による収入	2,200	39,000
無形固定資産の取得による支出	△7,528	—
無形固定資産の売却による収入	—	7,000
投資有価証券の取得による支出	—	△397
投資有価証券の売却による収入	—	11,668
その他の支出	△2,303	△3,011
その他の収入	7,918	1,011
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,631	△21,427
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	△66,000
長期借入金の返済による支出	△41,666	△41,666
配当金の支払額	△80,793	△91,525
その他	△137	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	377,403	△199,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,654	△1,860
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	460,046	114,473
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,051	3,790,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,882,097	3,904,614

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。